

歴博くらしの植物苑だより



くらしの植物苑観察会 13:30 から くらしの植物苑東屋

第104回 11月24日(土) 『江戸の菊』 平野 恵 (文京ふるさと歴史館)

第105回 12月15日(土) 『サザンカの世界』 箱田直紀 (元東京農工大学)

くらしの植物苑今週の見どころ <http://www.rekihaku.ac.jp>

伝統の古典菊

展示が始まって、今は奥州菊・嵯峨菊・伊勢菊が満開です。



伊勢菊展示風景



奥州菊展示風景



岸の磐梯 (丁子菊)



江戸川花戸 (江戸菊)



雪山 (伊勢菊)



酔妃 (伊勢菊)

嵯峨菊



花弁が筆をさかさまにしたように咲きます。花弁の数は50~60枚にもなります。

伊勢菊



花弁がよれて垂れ下がるのが特徴です。

ビワ (バラ科ビワ属)

常緑小高木の果樹で、葉は革質で薬用に用います。子供のころは葉をあせもの薬として、浴湯料に使いました。6月ころに果実が熟します。中には大きい種子があります。材は硬いので、木刀・杖などに使われます。



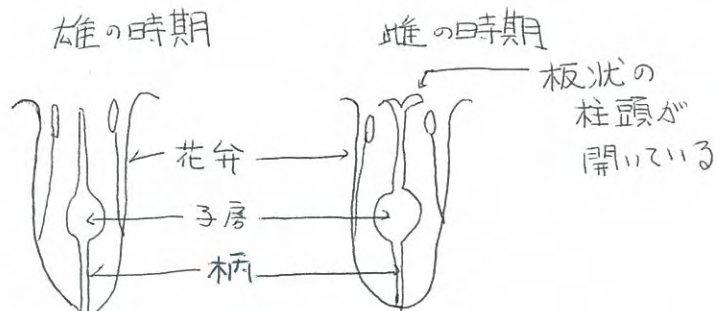
マユミ (ニシキギ科ニシキギ属)

山に自生する落葉小木で、果実は赤くなります。材は緻密で粘りがあります。昔はこの材で丸木弓を作ったところからその名がついたといわれています。



リンドウ (リンドウ科リンドウ属)

秋の草原を彩る多年草で、日が当たっているときだけ花が開きます。花冠は先端で5裂し間に副片があります。内側には茶褐色の斑点がみえます。副片があるのがリンドウ属の特徴で、花も雄の時期と雌の時期があります。



シデコブシ (モクレン科モクレン属)

本州中部に限られた地域に固有分布する、落葉の低木から亜高木です。袋果が集まった集合果で赤い種子がみえます。赤い種子は白い珠柄の先にぶら下がります。



シデコブシの花